

さみどり

にのみや学園

二宮町立一色小学校 学校だより
令和5年度 第5号 (12/1発行)



一色小学校は創立59年目を迎えました。

2023年も残り1か月を切りました。11月には運動会を皮切りに、いろいろな行事がありました。教室の授業だけではなく、このような行事等の中での様々な体験を通して、多くの学びが得られていると思います。少し時間がたってしまいましたが、11月の子どもたちの様子を写真とともにお伝えします。

令和5年度運動会

11月3日(金)、秋晴れのすばらしいお天気の中、運動会を行いました。



「2023 全力 協力 ニョッキッキー」のスローガンのもと、一人ひとりが全力を出し、クラスの仲間や他の学年の人たちと協力して、みんなががんばりました。

1年生による開会のことばで始まり、運動会の歌も力いっぱい元気よく歌いました。応援団を中心に、赤組・白組の応援にも熱が入りました。



<1・2年生>

「チェッコリ玉入れ」のダンスでは、かわいい姿にみんなにっこり。見ている在校生も卒業生もみんな一緒に踊って、大盛り上がり、すばらしい一体感が会場全体に広がりました。大人になってからも忘れられないダンスの1つになることでしょう。



1年生は、初めての運動会をととても楽しみに、わくわくウキウキで当日を迎えました。走ったり、踊ったり、綱を引いたり、見たり、応援したり、小さい体



いっぱいがんばっていました。終わった後に、「〇組負けたけど、楽しかったからいいか!」という言葉がありました。すてきです。



2年生は、「走る走る2年生 50m がんばるぞ!」で、一色小卒業生の秋澤瞳さんのことを歌い継ぐ、みんな大好きな曲「ニコニコおひさま」を歌って踊りながら入場し、気持ちを込めて精一杯走り抜けました。「チェッコリ玉入れ」では、1年生をリードしながら、疲れも見せずにひたすら踊って、球を投げ、どちらが勝っても、練習も本番も楽しい競技でした。



<3・4年生>

「世界の果てまで探してQ」は、お題に当てはまる人を探す借り人競争で、会場中を駆け回り、家族や地域の方々にもご協力いただきました。実は、「鬼」や「ハンター」など、事前に先生たちで仕込んで



用意していたものもありました。会場にいる人たちみんな楽しんでできました。



3年生は、「中学年はんばないって! リレーめっちゃ全力で走るもん」で、練習の時から自分たちで順番を決めたり、バトンのコツを教え合ったりしていました。4年生と協力して、2つの競技とも熱く盛り上がり、勝ち負けに関係なく楽しみました。



4年生は、中学年の先輩としてチームをまとめたり、どんな時でもポジティブに声



かけをしたりして、練習中も常に明るく活気がありました。競技では順位はつくけど、結果だけにこだわるのではなく、その内容やこれまでの努力に目を向けて、自分たちで楽しんでいる姿がありました。

<5・6年生>

「一色ソーラン 2023」は、練習の成果を存分に発揮して、楽しくかつ真剣に踊っている姿は、見る人に感動を与えました。6年生から5年生へと、しっかりと一色小の伝統を引き継ぐこともできました。



5年生は、初めての一色ソーランに向けて、各自が思いを込めて漢字をかいたはっぴを作り、本番



に臨みました。休み時間や放課後にも友達同士で声をかけ合い、自主的に練習をしていました。本番では、

緊張した表情が太鼓の音が鳴ると真剣な表情に変わり、立派に表現することができました。来年は6年生として踊ることが楽しみです。



6年生は、小学校生活最後の運動会、そして最後の一色ソーランでした。今年は、一色ソーランの最後に掲げる大漁旗を一新して、デザインからみんな



で相談し、すてきな大漁旗が完成しました。本番は気合十分、かっこいい姿を見せてくれました。踊り終わった後のすがすがしい表情が印象的です。

避難訓練と防火訪問事業

11月27日(月)の2時間目の途中に、理科室で火災が発生したという想定で避難訓練を行いました。教頭先生から火災を知らせる訓練放送が入ると、子どもたちは整然と速やかに校庭に避難することができました。避難の様子は、消防署の方々にも見ていただき、避難後にお話をさせていただきました。



3・4時間目には、3～5年生を対象に、二宮町消防本部の方々による防火訪問事業が行われました。消防クイズや水消火器の体験、消防車との綱引きなどに挑戦して、防火の大切さや消防車の役割などについて学習しました。



にのみや学園

～小・小なかよしプロジェクト～

今年度開校した施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」の取組の一環で、11月28日(木)に「小・小なかよしプロジェクト」として、山西小学校の1年生が本校を訪れて交流を行いました。

「小・小なかよしプロジェクト」は、同学年同士の交流を基本としていますが、本校では、全学年で山西小の1年生を歓迎しました。

まず、バスで山西小の1年生が到着すると、5年生が昇降口で出迎え、くつ箱の場所を教えてあげたり、体育館まで連れて行ったり、優しく接していました。

体育館では、一色小の1年生が「はじめの会」を進行して、2校が一緒になったグループに分かれて、お互いに自己紹介をしてから、校庭、友情の山、スマイルネットルームなどで仲良く遊びました。

友情の山では4年生が、1年生同士の交流をサポートしながら、山頂まで案内してくれました。



中休みには、みんなで一緒に自由に遊びました。ここでは、2・3年生が山西小の1年生を誘って、一緒にサッカーを楽しんでいました。

その後も、図工室で自分たちが作ったおもちゃを見せて遊んだり、図書室や教室で過ごしたりして、最後は、再び体育館に集まり、6年生がバスまで連れて行き、お見送りをしました。



子どもたちは、あっという間に仲良くなって、わくわくがあふれる笑顔がたくさん見られました。

「小・小なかよしプロジェクト」は、同じにのみや学園の小学校という一体感を感じるとともに、中学校進学前に他の小学校の児童と交流することで、中学校で初めて出会う緊張感を少しでも和らげ、これまで以上に安心感をもって中学校に進学することをねらいとしています。小学校6年間で、次は二宮小学校も含めて、いろいろな学年で交流をして、中学校で会えるのを楽しみにできるようにしたいと思います。